

# 【戦評シート】 第 44 回秋田県クラブバスケットボール選手権大会

## 兼第 31 回東北クラブバスケットボール選手権大会秋田県予選大会

### (女子決勝)

平成 29 年 10 月 15 日 (日)	協会名： 秋田県	バスケットボール協会							
場 所：羽後町総合体育館	記入者： 佐々木忠彦								
チーム A K・O・C☆eco	75	<table border="0"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>22-17</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> </tr> <tr> <td>15-15</td> </tr> <tr> <td>23-18</td> </tr> </table>	}	22-17	15-16	15-15	23-18	66	チーム B 角館 KING
}	22-17								
	15-16								
	15-15								
	23-18								

スターター	チーム A： #1, #3, #4, #61, #78
	チーム B： #5, #11, #13, #14, #16
ディフェンス (試合開始時)	チーム A： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (3-2ゾーン )
	チーム B： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

女子決勝は、5連覇を狙う K・O・C と 2 年ぶりに決勝進出を果たした角館 KING の対戦となった。

第 1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。角館 #11 大山の 3P で先制、K・O・C #4 金(吏)の 3P で応戦。開始 2 分 K・O・C #61 金(ま)のゴール下でのシュートが決まるとすかさず角館 #5 小松のバスケットカウントで対抗。その後も K・O・C #61 金(ま)のゴール下を中心に得点を重ねる。残り 5 分 14-5 となったところで角館がタイムアウト。タイムアウト後すぐさま角館 #9 の 3P で得点。残り 2 分 K・O・C #24 今のスティールから #4 のレイアップで 20-12 とする。残り 1 分 K・O・C #4 金(吏)スティールから #24 今のレイアップで得点するも終了間際、角館 #11 大山の 3P が決まり 22-17 で第 1Q を終了する。

第 2Q、K・O・C は 3-2 のゾーンディフェンスに対し角館はマンツーマンディフェンス。どちらも決め手を欠くなか、残り 7 分先にリードしている K・O・C がタイムアウト。タイムアウト明け K・O・C #4 金(吏)のスティールから #1 橋本のレイアップが決まるとすぐさま角館が前半 2 回目のタイムアウト。タイムアウト明け代わって入った角館 #10 佐藤のポストプレーで得点し 7 点差とする。リズムを掴んできた角館は #14 藤村の 3P で 28-26 の 2 点差と詰め寄る。残り 2 分角館 #11 大山の 3P が決まり 33-29 とする。その後 K・O・C #61 金(ま)のゴール下や角館 #5 小松のミドルシュートなどが決まり 37-33 で前半を終了。

第 3Q、角館 #5 小松リバウンドからのバックシュートで得点。残り 8 分角館 #15 会場のミドルシュートで 37-37 の同点とする。残り 5 分 K・O・C #24 今のバスケットカウントで 45-40 となったところで K・O・C 後半 1 回目のタイムアウト。フリースローも決め、46-40 とする。残り 3 分角館 #5 小松のリバウンドからのゴール下の 3 連続ゴールで 46-46 の同点とする。ここで K・O・C はゴール下にボールを集め #61 金(ま)の 3 連続ゴール、対する角館もリバウンドからの速攻でファウルを誘い #11 大山がフリースロー 2 本を決め 52-48 で第 3Q を終了。

第 4Q、開始早々 K・O・C は #38 永野にボールを集め連続ゴールするも残り 8 分 #38 永野がファウルアウト。残り 7 分半、59-53 となったところで角館が後半 1 回目のタイムアウト。残り 5 分、K・O・C がタイムアウトを取りディフェンスでプレッシャーをかけスティールからマイボールにし、#61 金(ま)のゴール下や #24 今のオフェンスリバウンドからの得点で残り 3 分 66-55 となったところでたまたま角館が後半 2 回目のタイムアウト。その後も角館 #14 藤村、#11 大山の 3P で反撃するも K・O・C の終始ポストプレーを中心とした安定したゲーム運びで 75-66 で逃げ切り 5 連覇を果たした。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。